

## 平成30年度事業報告

(公財)こうべ市民福祉振興協会は、「神戸市民の福祉をまもる条例」の理念に基づき、市、事業者及び市民それぞれが有する人材、資力などを総合的に活用することにより市民福祉を振興するための事業を創造・推進し、市民の福祉の向上に寄与することを目的としている。

平成30年度は、団体設立40年、しあわせの村開村30年を迎えたことにあわせ関連事業を実施したほか、今後の法人としてのあるべき姿や取り組むべき重点施策をあらためて示した「2025ビジョン」を策定した。また、平成26年度に策定した「中期経営計画2018」の終了年度を迎えたことを受け、「2025ビジョン」の具体的な実施計画として「中期経営計画2022」を策定した。

## 平成30年度事業報告

### 【公益目的事業】

#### I 市民の福祉意識の啓発並びに福祉活動の普及及び助長 [公1] 81百万円

福祉資源としての市民の有する力のさらなる活用を図るため、市民に対する福祉意識の啓発や市民の福祉活動を振興する事業を実施した。

#### 1 市民の福祉意識の啓発を図る事業

##### (1) 情報誌の発行

市民福祉への理解を深めることを目的に、当協会の取り組んでいる事業内容のほか、福祉や健康に関する情報を掲載した情報誌「市民ふくし」を発行した。

[発行回数] 年6回 [発行部数] 各30,000部

##### (2) ふれあい体験学習

市民の思いやりの心を育むことを目的に、学校・地域団体等を対象に、車いす・アイマスク・白杖等を用いた体験実習及び村内福祉施設での実習等を行った。

[参加者数] 計3,568人

##### (3) ユニバーサルデザイン(UD)の普及啓発

ユニバーサル社会の実現を目指し、より多くの市民にユニバーサルデザインへの理解を広げていくため、講義やワークショップを通して学ぶ「こうべUD大学」や「夏休み親子UD体験教室」を実施したほか、啓発及び関連団体の取り組みのPRの場である「こうべユニバーサルデザインフェア」等を実施した。

また、普及啓発活動にともに取り組む市民組織「こうべUD広場(こうべユニバーサルデザイン推進会議)」を支援するとともに、市民ボランティア「こうべUD活動サポーター」

と市内小・中学校で「UD出前授業」を行ったほか、地域等におけるUDの視点に立った取り組みを取材した冊子「地域で実践するユニバーサルデザイン事例集」を発行した。

- ① こうべUD大学 [実施回数] 全10回 [受講者数] 75人
- ② 夏休み親子UD体験教室 [実施日] 7月22日、8月2日 [参加者数] 計211人
- ③ こうべユニバーサルデザインフェア [実施日] 3月17日 [来場者数] 8,500人
- ④ UD出前授業 [訪問学校数] 37校 [参加者数] 計2,832人
- ⑤ UDスポット見学ツアーinしあわせの村  
[実施回数] 計38回 [参加者数] 計1,300人
- ⑥ こうべUD活動サポーター [登録者数] 18人 [活動者数] 延146人

## 2 市民の福祉活動の振興

### (1) 市民福祉事業・福祉活動助成

市民活動の活性化による福祉都市神戸の創造を目的に、神戸市民の福祉の発展・向上に資する先駆的な事業・活動の実施(聴覚障害者福祉拡充に向けた検討会、ひとり親家庭のふれあいデイキャンプ等)に対する助成を行った。

[助成件数] 8件 [助成金額] 計1,162千円

### (2) 手話・点訳ボランティア養成と活動支援

視覚・聴覚障がい者についての理解を深めるとともに、市民ボランティアの育成を目指し、手話及び点字の講座を行った。

また、より多くの市民の手話に対する理解を促進することを目的に、気軽に手話とふれあうことのできる短期手話講習会を実施したほか、講座修了者を中心に組織されたボランティアグループに対する運営の支援や活動機会の提供を行った。

さらに、聴覚障がいのある映画監督が出演・制作した映画の上映会及び本人を招いた講演会を開催し、障がい者についての理解を深める機会とした。

- ① 手話講座(入門課程) [実施回数] 全20回 [受講者数(修了者数)] 27人(23人)
- ② 点字講座 [実施回数] 全35回 [受講者数(修了者数)] 11人(9人)
- ③ 短期手話講習会 [実施回数] 3期(各期4回) [受講者数] 計36人
- ④ 映画上映会・講演会(上映作品:「Start Line」今村彩子監督)  
[実施日] 7月21日 [参加者数] 178人

### (3) 市民向け福祉啓発講座

広く福祉にふれる機会を提供することにより、市民の福祉意識の向上に資することを目的とした教室や講座を行った。

- ① 夏休みこども向け教室
  - ア. 手話教室 [実施日] 8月7日、18日 [受講者数] 計20人
  - イ. 点字教室 [実施日] 8月2日、18日 [受講者数] 計38人
- ② 認知症介護予防教室 [実施日] 5月26日、9月29日、2月16日 [受講者数] 計151人
- ③ 福祉講演会(「将棋で育まれる力」講師:谷川浩司九段)  
子育てやコミュニケーションにおける「楽しい、嬉しい、悔しいと感じること」の大

切さを将棋を通じて考える機会とするとともに、子どもを対象とした指導対局を実施  
[実施日] 3月24日 [参加者数] 163人、指導対局(中学生以下対象)30人

### 3 高齢者や障がい者の社会参加の支援

#### (1) 「こうべ長寿祭」の開催等

長寿社会を明るく活力に満ちたものにするため、高齢者のスポーツと文化の振興を図り、高齢者の心身の健康の保持・増進に寄与することにより、長寿社会における健康と福祉に関する市民の理解を深めることを目的に「こうべ長寿祭」を実施するとともに、神戸市代表選手団を「全国健康福祉祭とやま大会」へ派遣した。

##### ① 第31回こうべ長寿祭

[開催期間] 4月22日～12月11日 [参加者数] 計2,985人、美術作品181点

##### ② 第31回全国健康福祉祭とやま大会

[開催期間] 11月3日～6日 [神戸市代表] 選手123人、美術作品10点

#### (2) こころのアート展

障がい者の芸術作品の魅力を広く社会に知っていただくとともに、活躍の場を拓くことを目的に、芸術活動に取り組む障がい者を兵庫県内から公募し、選出された障がい者の芸術作品展及びその自由な表現を体感するワークショップをしあわせの村において開催した。

また、作品をより多くの方に楽しんでいただくことができるよう、神戸市役所市民ギャラリーのほか、こうべまちづくり会館、新長田勤労市民センター、豊岡市民プラザにおいて巡回展を開催した。

##### ① 作品展(しあわせの村)

[展示期間] 11月8日～12月2日 [展示作者数] 10人 [来場者数] 7,200人

##### ② ワークショップ [実施日] 11月11日 [参加者数] 120人

#### (3) 発達の気になる児童に対する支援事業

学校行事等への適応に不安を抱える発達の気になる児童(小学1年生)に対し、事前に体験しておくことでその不安を解消する機会を提供する「体験ひろば」を開催したほか、参加児童の保護者に対し、グループワークや学びの機会を提供する支援講座を行った。

また、次年度に就学を控えた児童と家族を対象とした講座と情報交換や交流の機会を提供するため、「発達の気になる子と保護者のつどい」を実施した。

##### ① 体験ひろば [実施回数] 全10回×2クラス [参加者数] 計36人

##### ② 保護者向け支援講座 [実施回数] 年4回 [参加者数] 計148人

##### ③ 発達の気になる子と保護者のつどい

[実施日] 3月10日 [参加者数] 48人(児童22人、保護者26人)

### 4 「2025ビジョン」の策定

団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり社会構造の大きな変換点と考えられる2025年に向けて、市民福祉の課題を解決していくための協会のあるべき姿や取り組むべき重点施策を示し、中長期的な戦略を可視化するため、学識経験者等による検討委員会を経て「2025

ビジョン」を策定した。

## 5 「中期経営計画2022」の策定

平成26年度に策定した「中期経営計画2018」の終了年度を迎えるとともに、「2025ビジョン」を策定したことをふまえ、ビジョンを着実に達成していくための具体的な実施計画として、「中期経営計画2022」（計画期間：2019～2022年度の4か年）を新たに策定した。

## II 総合福祉ゾーン「しあわせの村」をはじめとする市民福祉施設の管理運営

[公2] 431百万円

市民の心身の健康や福祉の増進を図るため建設された市民福祉施設における設立理念の実現を目指した管理運営を通して、市民福祉の向上を図る事業を実施した。

### A 総合福祉ゾーン「しあわせの村」運営事業

「神戸市民の福祉をまもる条例」の基本理念である「自立と連帯」の実現をめざし、高齢者・障がい者をはじめとするすべての市民が、あたたかいふれあいの中で思いやりや助け合いの心を育み、「つどい」・「楽しみ」・「学び」・「憩う」場として「しあわせの村」を利用いただけるよう、専門的能力を有する事業者と共同事業体を構成し、指定管理者として運営を行った。

協会は、共同事業体代表法人として運営全体の総合調整を行うとともに、利用者の安全・安心の確保や施設の維持管理を行ったほか、市民福祉の理念実現のため、福祉事業や市民交流事業の企画・実施等に取り組んだ。

また、各施設の管理運営においては、共同事業体の各構成団体が互いに連携をとりながら専門的能力を発揮することにより、全体としての利用者サービスの向上や効率的な運営に取り組み、市民福祉の拠点施設である「しあわせの村」の事業運営の充実を図った。

さらに、神戸市の子育て支援施策の一環として、18歳未満の子どもを含むグループの普通車駐車料金の無料化を開始したほか、次年度に迎える開村30周年を盛り上げていくための関連事業を実施した。

#### 【平成30年度 しあわせの村利用状況】

	利用者数	対前年度比
入村者数	1,842,300人	△2.5%
施設利用者数	1,054,898人	△3.8%
宿泊施設	71,430人	△3.7%
研修館	93,522人	14.8%
温泉	206,695人	△2.0%
屋内運動施設	279,128人	△11.6%
屋外運動施設	403,501人	△2.4%
イベント等	141,930人	2.6%

## 1 障がい者の自立や社会参加を促進するための事業

### (1) 障がい者就労支援協働事業

障がい者就労の促進と市民への啓発を目的とした事業を障がい者団体や障がい者施設との協働により実施した。

#### ① 農福連携事業

村内で栽培している農作物の生産・加工・流通と障がい者の就労を組み合わせた事業の取り組みとして、ジュース(にんじん)やかりんとう(さつまいも)の販売を行った。

#### ② 「神戸幸品」の販売

村で生産された産品であるはちみつ、原木しいたけ、きんとき(さつまいも)を、しあわせの村のオリジナルブランド「神戸幸品(こうべこうひん)」の商品として販売した。

#### ③ 缶バッチ・缶マグネットの製作販売

村内障がい者施設(4施設)による「缶バッチ☆マグネット製作隊」の受注・販売活動の支援を行った。

#### ④ 神戸芸術工科大学との連携協定事業

村内障がい者施設と連携し、施設利用者が描いた原画をデザイン・製品化したばんそうこうや手工芸品について、引き続きノベルティとしての活用及び販売を行った。

また、村内障がい者施設利用者が描いた原画をもとに、開村30周年記念ノベルティ(金太郎飴)に用いる図柄のデザインを行った。

### (2) 障がい者就労カフェ、障がい者就労コンビニ

障がい者就労の場の拡充と来村者への福祉意識の啓発を目指し、本館・宿泊館1階において運営していた障がい者と健常者がともに働く障がい者就労カフェについて、6月より、障がい者就労コンビニとして引き続き共同事業体と連携しながら運営を行った。

[利用者数] (カフェ)10,172人(4/1~6/10)

(コンビニ)116,054人(6/30~3/31)

### (3) 授産品等展示・販売コーナー

本館・宿泊館において、障がい者施設の授産品やユニバーサルデザイン製品の展示・販売、施設の活動を紹介する「はっぴねすコーナー」の運営を行ったほか、温泉健康センターにおいても授産品の販売を行った。

なお、本館・宿泊館における障がい者施設の授産品、絵画等の展示や活動紹介の場として、7月より、旧売店跡地に「はっぴねすひろば」を新たに開設した。

### (4) ふれあいコンサート

音楽活動を通じた障がい者・高齢者の社会参加や市民とのふれあいの促進を目的に、家族や友人とともに音楽を楽しんでいる障がい者・高齢者のグループや、音楽を通じたボランティア活動を行っているグループが出演するコンサートを行った。

[実施日] 4月21日 [出演団体数] 20団体 [来場者数] 447人

(5) ファミリー日帰りキャンプ

身体・知的障がい児とその家族がキャンプやレクリエーション活動を通じて、参加者同士の交流を深めリフレッシュできる場を提供した。

[実施日] 10月21日 [参加者数] 75人

(6) 障がい者スポーツ教室

障がい者の健康増進、心身機能の維持・向上や生きがいづくりを目的とした各種スポーツ教室を行った。

[実施種目] 水泳、卓球、親子運動あそび、テニス、アーチェリー、ニュースポーツ

[参加者数] 計830人

(7) 障がい者スポーツ交流イベント

障がい者と健常者がスポーツを通じて相互理解を深めることを目的に、ともに楽しみ、交流する機会を提供した。

① 卓球大会 [実施日] 9月9日 [参加者数] 137人

② ニュースポーツ体験会 [実施日] 10月7日 [参加者数] 593人

③ しあわせNew Yearマラソン、ふれあいラン

[実施日] 1月14日 [参加者数] 計1,692人

④ パラ・スポーツ王国 HYOGO & KOBE 夢プロジェクト2018

[実施日] 11月4日 [参加者数] 2,576人

(8) 東京パラリンピックに向けた支援活動

各種競技団体の強化合宿や、神戸市が推進するホストタウン事業と連携した海外選手の合宿に対する練習会場の提供等の支援を行ったほか、選手と市民が交流する機会の提供や広報活動等に取り組んだ。

① 合宿に対する支援(シッティングバレーボール男子日本代表、身体障がい者水泳連盟、ゴールボール女子日本代表、ネパール水泳選手団)

② 神戸市北区出身の選手(リオパラリンピック出場・水泳)に対する練習場所の提供

③ 開村30周年記念シンポジウム「パラ・スポーツとテクノロジーの進化」の開催

パラリンピック選手やパラ・スポーツを支えるさまざまな分野の専門家を招いた基調講演やトークセッションを実施

[実施日] 3月17日 [参加者数] 60人

④ 「アスリートに学ぶ!体験・パラスポーツ」

※台風のため中止(7月28日 しあわせの村まつりにて実施予定)

(9) ユニバーサル農園活動

ユニバーサル農園において、レクリエーションや機能回復等の一環として、村内の福祉施設利用者などに野菜の栽培や収穫等の農園活動の体験機会を提供した。

[参加団体数] 10団体

## 2 高齢者の自立や社会参加を促進するための事業

### (1) 神戸市シルバーカレッジの運営

- ① 高齢者の豊かな経験を活かして自らの可能性を拓き、その成果を社会へ還元することを旨として、高齢者に学習及び実践活動の場を提供することを目的に、健康福祉、国際交流・協力、生活環境、総合芸術等の4つのコースを設け、地域でのボランティア活動も交えたカリキュラムを実施するとともに、学生ボランティアグループや卒業生が行う社会貢献活動に対する支援・協力を行った。

[年度末在籍学生数] 計1,015人

- ・健康福祉コース (181人)
- ・国際交流・協力コース (229人)
- ・生活環境コース (183人)
- ・総合芸術コース (422人)

[30年度入学者数] 401人(うち、再入学者数 86人)

※30年度入学者より再入学制度を新設

- ② 開村30周年を記念し、しあわせの村やシルバーカレッジのこれまでの歩みを振り返るとともに、今後の展望について考えるシンポジウムを開催した。

[実施日] 11月8日 [参加者数] 161人

### (2) 健康いきいき教室

心身機能の維持・向上と交流する機会の提供を目的に、軽運動やレクリエーションを中心とした教室を開催した。

[実施回数] 延117回 [参加者数] 延1,836人

### (3) 高齢者スポーツ教室

高齢者の健康増進、心身機能の維持・向上や生きがいづくりを目的とした各種スポーツ教室を行った。

[実施種目] 水泳、卓球、バドミントン、テニス、アーチェリー、ニュースポーツ

[参加者数] 計1,302人

## 3 児童の健全な育成を図る事業

### (1) わいわいストリート

神戸市シルバーカレッジ卒業生を中心とするNPO法人「社会還元センターグループわ」との協働により、親子で楽しく遊べる昔あそびを行い、世代間の交流の場を提供した。

[実施日] 5月5日 [参加者数] 1,575人

### (2) おはなしの会

幼児が絵本や紙芝居に触れ、豊かな感性と創造性を育む機会を提供するとともに、ボランティアへの活動機会提供による担い手の育成を目的に、読み聞かせの会を開催した。

[実施回数] 年111回 [来場者数] 計2,478人

### (3) 夏休み工作塾

創意工夫し表現することの実体験を通じた親子の絆づくりと、NPO法人「社会還元センターグループわ」の指導を通じた世代間交流の場を提供した。

[実施日] 8月4日 [参加者数] 781人

### (4) ファミリー写生会

家族で風景を絵に描くことを通じてしあわせの村に親しんでもらうとともに、表現の楽しさを味わいながら家族の絆を深める機会を提供したほか、参加全作品を村内施設に展示した。

[実施日] 5月19日 [展示期間] 6月1日～7月1日 [参加家族数] 41家族

## 4 市民福祉の拠点施設としての施設を維持するとともに活性化を図る事業

### (1) 総合的な施設の管理運営

- ① 誰もが安全・安心・快適に利用できるよう、施設の保守・修繕や警備、無料巡回バスの運行等の村内施設の総合的な維持管理を行った。

また、共同事業体や村内の医療・福祉施設と連携し、緊急時を想定した情報伝達訓練を実施し、村内の総合防災・防犯に向けた取り組みを行った。

- ② 一年中花に囲まれ、市民の憩いとリフレッシュの場として人気が高い緑地について、引き続き快適な空間として良好に維持管理を行った。

- ③ 市民の理解をより一層深めていくための情報発信や運営改善のためのアンケート調査を行った。

・ホームページやメールマガジン、フェイスブック等のさまざまな広報手段の活用による情報発信

・入村者アンケート調査 [実施日] 10月10日、13日 [有効回答数] 1,278件

・登録モニター「村っ子モニター隊」に対するモニタリング調査

[調査実施回数] 年3回 [年度末登録者数] 139人

- ④ 障がい者団体への村内管理業務等の委託を通して、障がい者の就労の場の確保を図るとともに、自立や社会参加のための活動を支援した。

ア. 空き缶回収・ゴミの分別回収業務

イ. 温泉健康センター直売所(しあわせマルシェ)の清掃業務

ウ. 保養センターひよどり周辺の園地管理

エ. 自動販売機の管理

- ⑤ 子育て世代のしあわせの村の利用を支援することを目的とした乳幼児や児童の託児サービスを、イベント・講座の開催にあわせ実施した。

[実施回数] 8回 [利用者数] 計31人

### (2) 多くの市民が集い、楽しみ、憩い、交流を深めるための事業

- ① こうべ福祉・健康フェア

市民の福祉意識を啓発し、ボランティア活動の情報提供や健康に関する正しい知識の普及・啓発を図ること目的に、福祉施設・障がい者団体によるバザーや模擬店のほか、

福祉用具展、各種検診等を行った。

[実施日] 10月7日 [来場者数] 17,000人

② リサイクルバザー

資源の有効活用を通じた市民相互の支え合いと環境意識の啓発を目的に、市民出店者による不用品等のリサイクルバザーを開催した。

[実施回数] 6回(5月19日・6月24日、11月10日・11日、3月16日・17日)

[来場者数] 計75,000人

③ マンスリーミニコンサート

しあわせの村を訪れる幅広い世代の方々に季節を感じ癒しのひと時を過ごしていただくことを目的に、神戸市混声合唱団によるコンサートを開催した。

[実施回数] 毎月1回 [来場者数] 計2,996人

④ 村の魅力ある自然環境を楽しむ催しの開催

ア. 夜桜ライトアップ

日本庭園を夜間開放し、ソメイヨシノやシダレザクラのライトアップを実施した。

[実施日数] 6日(3月30～31日・4月1日、4月6日～8日) [来場者数] 計3,190人

イ. 紅葉の滝ライトアップ

日本庭園を夜間開放し、紅葉と滝のライトアップを実施した。

[実施日数] 18日(11月1日～18日) [来場者数] 計3,237人

ウ. 緑のオリエンテーリング

村の豊かな自然環境を体感しながら、クイズラリーなどを楽しむオリエンテーリングを実施した。

[実施日] 5月20日 [参加者数] 110人

エ. 植物散策会

村内のさまざまな植物を観察する散策会を開催した。

[実施日] 10月20日 [参加者数] 14人

⑤ しあわせの村まつり ※台風のため中止(7月28日実施予定)

(3) しあわせの村ボランティア

① しあわせの村での事業に大学生から高齢者までボランティアの参画を広く求め、活動の場の提供と支援を行った。

ア. 協会事業の運営補助

イ. 障がい児・障がい者向けスポーツ教室の補助

ウ. おはなしの会(再掲)

エ. 花壇のデザインや植え付け・手入れ等

オ. 自主企画イベントの実施

▶ 読み聞かせ [実施回数] 年3回 [参加者数] 78人

▶ 運動あそび [実施回数] 年1回 [参加者数] 23人

▶ 自主企画 [実施回数] 年8回 [参加者数] 2,227人

[登録者数/活動者数]

ア. 障がい児・障がい者向け各種スポーツ教室指導補助ボランティア(63人/延1,900人)

イ. 社会人ボランティア (64人/延1,001人)

ウ. ユース(大学生)ボランティア (54人/延1,117人)

エ. 花緑ボランティア (19人/延800人)

オ. おはなしの会 (11グループ94人/延346人) 計 294人/延5,164人

- ② ボランティア活動への動機付けやスキルアップのための研修会等を開催した。

[実施回数] 年4回

#### (4) ユニバーサルデザインの推進

高齢者や障がい者の利用割合が高い施設の特性を考慮しながら、協会において策定した「しあわせの村ユニバーサルデザイン推進指針」に基づき、当事者の意見を活かしながら誰にでもやさしい「村」づくりを進めた。

30年度は、トイレの改修工事やW i - F i 環境整備を実施したほか、人工知能(A I)を搭載した「音声対話型電子案内板」を本館・宿泊館及び温泉健康センターに設置した。

また、温泉健康センターには、白杖を使用する視覚障がい者を「音声対話型電子案内板」へ誘導するため、「白杖使用者向け音声案内システム」を試行的に設置した。

[トイレ改修工事実施施設]

本館・宿泊館2階、芝生広場(西・北)、キャンプ場(オート・テント)

[W i - F i 環境整備施設]

宿泊施設(本館・たんぼぼ・ひよどり・あおぞら)、研修館、温泉健康センター、シルバーカレッジ

## B 平磯児童館の運営

児童に健全な遊びの場を提供し、その健康を増進し、または情操を豊かにする活動を通じて地域における市民福祉の向上に寄与することを目的に、指定管理者として運営を行った。

### ① 児童健全育成事業

自由来館児童への遊びの提供・指導、季節行事、在宅福祉センターや地域福祉センターの高齢者との交流会等を実施した。

### ② 子育て支援事業

・「幼児の会」(毎週1回)

2~5歳児の親子を対象にした手遊び等のプログラムを実施した。

・「ミニミニっ子」(毎月1回)

0~2歳児の親子を対象にした手遊び等のプログラムを実施した。

・「すくすくひろば」(毎月1回)

地域団体が実施する0~5歳児の親子同士の交流を図るための季節行事等のプログラムを支援した。

[来館者数] 延8,888人

### Ⅲ 介護保険制度の公正・公平な運営を確保するための事業[公3] 285百万円

指定市町村事務受託法人として、市内全域における介護保険サービスの受給を新たに申請する市民及び要介護度の変更を申請する市民に対して訪問・調査を行う「要介護認定調査業務」を市からの受託により実施した。

[調査件数] 33,046件

#### 【収益事業等】

### 指定管理施設に付帯する便益施設及び市民福祉施設等の運営 380百万円

#### 1 しあわせの村

##### (1) 便益施設の運営

###### ① 有料駐車場の管理運営

7月1日より、神戸市が実施する子育て世帯支援施策の一環として、18歳未満の子どもを含むグループの普通車駐車料金の無料化を開始した。

[(有料)利用台数] 247,879台

[子育て支援無料化台数] 71,333台

###### ② 飲料等自動販売機及び公衆電話の設置運営

###### ③ 野菜・鮮魚等直売所(しあわせマルシェ)の運営 [利用者数] 209,914人

###### ④ 貸館(シルバーカレッジ内ホール等、日本庭園内茶室)

[利用者数] カレッジ内ホール等626人、茶室614人

##### (2) 東日本大震災被災地交流・支援活動の実施

被災地障がい者施設授産品の村内直売所(しあわせマルシェ)での販売等を通して、引き続き交流・支援活動を行った。

#### 2 保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺

市民の健康の保持・増進を図るために建設した同施設について、公募により選定した民間事業者による運営を行った。

[利用者数] (宿泊) 9,020人 (温泉) 236,655人

#### 3 福祉用具リサイクル事業

身体障がい者や高齢者の在宅生活を支援するため、福祉用具のリサイクル事業を行った。

[リサイクル成立件数(申込件数)] 3件(13件)

#### 4 サン舞子マンション

平成23年度に社会福祉法人へ事業を承継したが、引き継いだ入居者に対する相談対応や入居預り金の管理を引き続き行った。